

「道路見える化計画」について

平成18年7月18日

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所
山梨県 土木部

新しい道路行政マネジメントの取り組み



新しい道路行政マネジメントを実践する委員会

国民・道路ユーザー
(納税者)

道路行政部局
(関東地方整備局など)

道路見える化計画
課題が見える・やり方が変わる

見える化とは、課題を「見える」ようにし、最適なやり方で重点的に解決すること。
課題のデータやそれに基づいた解決策とその結果を、利用者、納税者の皆さんに
「見える化」し、効率的な道路行政を進める計画

計画 (PLAN)

交通安全・渋滞
見える化
プラン

実施 (DO)

交通安全・渋滞
見える化プランの
実施

現場見える化
プロジェクト

目標宣言
プロジェクト

評価 (CHECK)

交通安全・渋滞
見える化プランの
評価

成果の見える化

全体の達成度

反映 (ACTION)

現場見える化プロジェクト

背景・課題



現状

工事内容を主体とした表現

- ・何のための工事かわからない

見える化

今後

事業目的を主体とした表現

- ・工事目的を正しく理解
- ・道路ユーザーにわかりやすく

現場見える化プロジェクトの3つの内容

「この工事は何の目的で、何を改善するのか」「いつ完成するのか」を伝える

- (1) 路上工事看板の改善
- (2) 事業説明看板の改善
- (3) 現場のオープン化

現場見える化プロジェクト

(1) 路上工事看板の改善

道路利用者の情報をわかりやすく提供するため、路上工事看板を見直しました。

今後は、①併設された「道路工事中」看板などを見直す。

②都県道などで実施される路上工事への適用を拡大する。

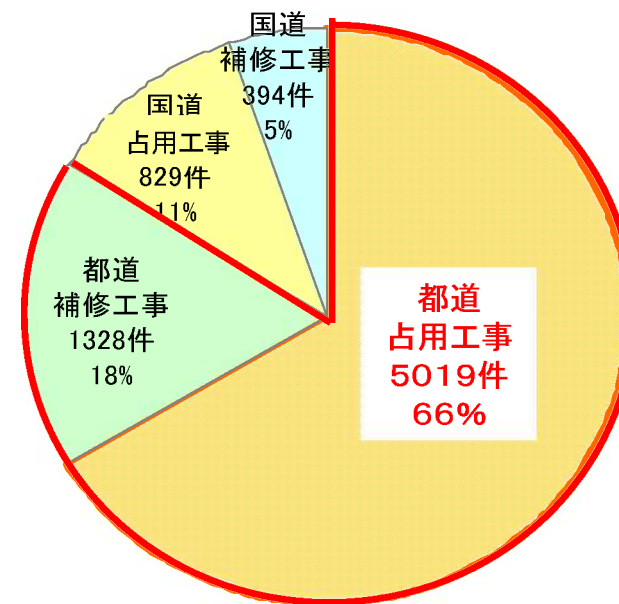
③現場に乱立する各種看板を整理し、必要な情報を見やすくする。

■新しい路上工事看板のポイント



■占用工事で「道路工事中」看板を使用した事例

- ・ 占用工事の工事目的が伝わらない
- ・ 看板が乱立し、伝えたいことがわからない



■路上工事の内訳（H14東京都内）

路上工事の8割を占める直轄国道以外の工事についても路上工事看板の改善が必要

※ 占用工事とは電気・ガス・水道などの施設の設置・更新する工事です。

現場見える化プロジェクト（事業看板）



現場見える化プロジェクト（路上工事看板）

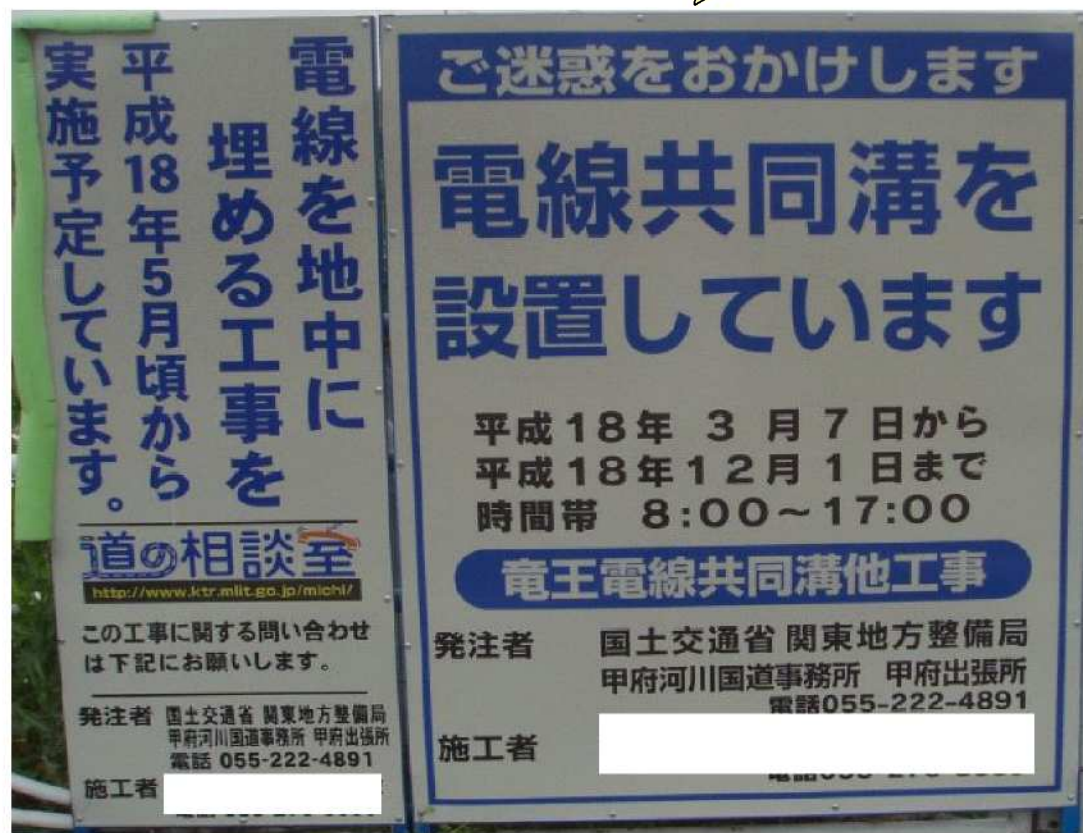
○わかりやすい路上工事看板

従来の路上工事看板



何の工事をいつからいつまで
実施しているか明記

新しい路上工事看板



成果の見える化

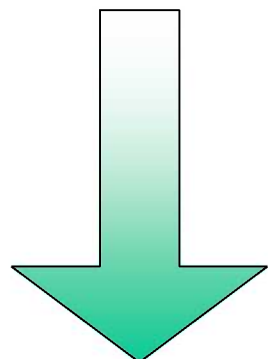
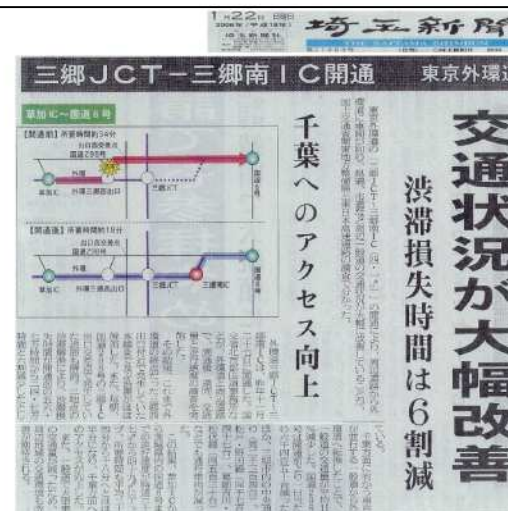
1. 個別箇所の事後評価と公表のルール化

これまで

これまでは、大規模なバイパス整備や立体化事業については効果を事後評価して公表してきたが小規模な工事については公表していなかった。

三環状道路の一部が開通し、交通状況が大幅に改善（速報）
＝東京外環自動車道（三郷 JCT～三郷南 IC）の整備効果＝

- ★外環三郷西（出口）の本線渋滞が解消！
今回の延伸により、これまで終点であった外環三郷西（出口）の本線渋滞が解消！
- 三郷 IC 出口（西）交差点の渋滞損失時間が約 6 割減少！
- ☆所要時間の短縮！
草加 IC～国道 6 号までの所要時間が約半分に減少（16 分短縮）し、千葉方面とのアクセスが向上！
- ☆周辺道路の交通状況が改善！
周辺道路の交通が外環へ転換し、交通状況が改善！
(交通量最大 23% 減少)



今後

路面表示の見直しや小規模な交差点改良などの短期的に実施した事業も含めて効果を事後評価して公表していきます。

〈効果を公表〉

